

ガザへの集団犯罪

日本はいかに加担しているか

～アルバネーゼ報告を手掛かりに考える～

講師: 根岸陽太さん

西南学院大学, 法学部国際関係法学科, 准教授



【プロフィール】早稲田大学博士後期課程修了。博士(法学)。専門は国際法、国際人権法。近年の業績として、『国際法—シナリオからはじまる』(共著、弘文堂、2026年)、『メディアと国際法—「知る公衆」』(監訳、法律文化社、2026年)など。

国連人権理事会のパレスチナ担当特別報告者フランチェスカ・アルバネーゼさんは、2025年6月と10月に出した、二つの報告書でイスラエルのジェノサイドを支援するイスラエル内外の軍需産業やIT産業など世界中の企業や国家を分析し批判をしました。アルバネーゼ報告を手掛かりに、日本の企業や政府がどのように加担しているかを改めて検証し、ジェノサイドを止めるために何ができるか考えます。

日時

7月5日(日)

14:00~16:30

開場: 13:30

場所

愛知芸術文化センター

アールスペース E/F (12階)

東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

参加費: 800円 (学生・500円)

※支払いが困難な方は要相談

※当日はオンライン参加が可能です。

希望者は下記のQRコードからお申し込みください

主催

パレスチナ連帯アクションなごや

(旧ガザ緊急アクションなごや)

✉: husen@jca.apc.org

☎: 050-3593-5130

